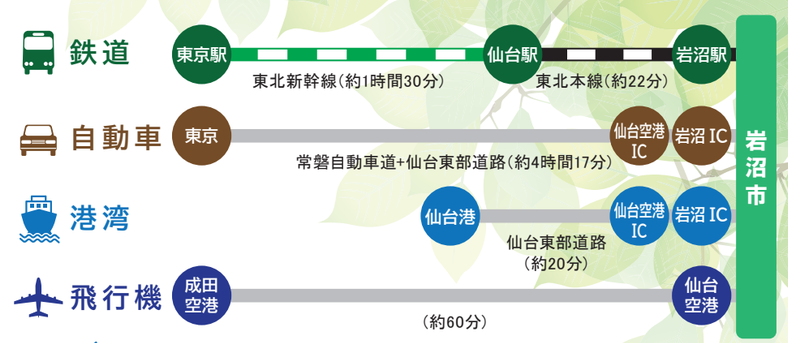
岩沼市の特徴と魅力

本市は、宮城県の中央部、仙台市の南17.6kmに位置し、市域は、東西で最大約13km、南北で最大約10km、総面積60.45km²の都市です。

西部の丘陵地域から東部の太平洋岸に至るまで平野が展開し、南部の市界には、阿武隈川が東流し太平洋に流入しています。

また、JRの東北本線と常磐線の分岐点、国道4号と6号の合流点であり、さらに東北地方の空の玄関口となる仙台空港が所在するなど、交通の要衝となっています。

本市は、かつて「門前町」、「宿場町」、「城下町」として栄えてきたまちですが、その後、立地的優位性から臨空工業団地などに大小の企業が進出し、工業都市の性格も加わり商工業都市として発展してきました。



【西部地区】

西の市境には、南北になだらかな丘陵が形成され、そこに立地するグリーンピア岩沼は、“健康増進・生涯学習施設“として市民の学びや憩いの場として利用されており、生まれたての空気の中で心と体のリフレッシュができます。

平坦地は、土地区画整理事業などの面的整備によって住宅を中心とした市街地が形成されており、幹線道路沿道には大型商業施設も立地するなど、生活利便性の高い良好な住環境が整備されています。

【中央部地区】

JR東北本線及び常磐線の分岐点であり、JR岩沼駅が市街地の中心にあり、仙台駅からはJR東北本線で20分、仙台中心部まで車で30分です。

また、主要幹線路である国道4号及び6号の合流点にあたることから、交通の要衝としての特徴を有しています。

旧来から市の中心地区として商工業や官公署などの施設が集積しており、それらの施設が住宅地と混在しながら市街地を形成し、多くの市民が居住する優良な住宅地となっています。

【東部地区】

太平洋に面した平坦な土地であり、水田を中心とした農地、玉浦西や恵み野といった市街地、岩沼臨空工業団地や二の倉工業団地、仙台空港用地など、多様な土地利用が展開されています。

本地域の北側に位置する空港周辺地区、西側に位置する岩沼ＩＣや仙台空港ICなど、交通結節点が多く、広域交通の利便性が高い地域となっています。